



2019年（令和元年）12月27日

開業 130 周年記念企画

東京新料理長 杉本 雄による新メニューや、
「ハツコ エンドウ ウェディングス」「桂由美ブライダルハウス」の
帝国ホテル限定ウエディングドレスなど

新ウエディングコンセプト

「THIS IS THE IMPERIAL」発表

適用期間：

2020年4月1日（水）以降に開催されるウエディング



開業 130 周年を迎えるにあたり発表した「THIS IS THE IMPERIAL」
宴会場「富士の間」とハツコ エンドウ ウェディングスによるオリジナルドレス ※写真左/
新料理長 杉本雄による華やかな新メニュー写真 ※右上・下

帝国ホテル 東京は、2020 年 11 月に開業 130 周年を迎えるにあたり、「THIS IS THE IMPERIAL」をコンセプトに掲げ、新たなウエディングメニューならびにテーブルコーディネート、オリジナルウエディングドレスの予約受注を、2020 年 4 月 1 日以降にウエディングをされるお客様を対象に開始いたしました。



帝国ホテルは 1890 年 11 月 3 日に日本の迎賓館としての役割を担い、日比谷の地に誕生しました。その後、大正期にはホテル内に神殿を設置し、挙式から披露宴までをホテル内で一貫して行う「ホテルウエディング」の原型を築き、1972 年には第一回目の婚礼相談会「ブライダルフェア」を開催するなど、ホテル業界における婚礼部門を牽引してきました。

昨今の婚礼マーケットにおいては、少子化による婚姻組数の減少や晩婚化の影響で婚礼実施組数が減少傾向にあると言われており、結婚式を行わずに役所へ婚姻届を提出するだけの「ナシ婚」層も増加する一方、結婚式を行う場所はホテルに加えて海外リゾートや専門式場・ゲストハウス、レストランなど選択肢の幅が広がっています。



このような時代において、ホテルウエディング発祥の場所として日本のウエディングの文化をリードしてきた歴史を持つ帝国ホテルは、これまでに受け継いできたおもてなしの精神を現代の顧客に合わせた商品・サービスとして未来に紡ぐべく、新コンセプト「THIS IS THE IMPERIAL」を掲げ、“これこそ帝国ホテル”と言えるウエディングを提案します。

「THIS IS THE IMPERIAL」の商品概要は次の通りです。

■帝国ホテル 東京 「THIS IS THE IMPERIAL」概要

適用期間：2020年4月1日（水）以降に開催されるウエディング

“これこそ帝国ホテル”を意味するコンセプト「THIS IS THE IMPERIAL」を掲げ、100年を超えて、婚礼に関わってきた帝国ホテルだからこそ実現できるウエディングを提案いたします。

●料理

帝国ホテルでウエディングをされるお客様から特に高い評価をいただいている料理を、本年4月に東京料理長に就任した杉本雄監修のもと、刷新いたしました。なかでも、ご新郎ご新婦の希望に合わせて基本のコースメニューと組み合わせることのできる「料理長セレクション」は、杉本が開業130周年を記念し書き上げた、ウエディングのためのオリジナルメニューです。

杉本が受け継いだ帝国ホテルの伝統と、本場フランスでの経験の中で磨きあげられた感性が融合した、新しい時代にふさわしく進化した料理です。



写真左：アミューズ ズワイ蟹 現代風アスピックゼリー ライム香るファルシと野菜のヴェルテ

写真右：肉料理 和牛サーロイン/トリュフ トリュフをまとったサーロインのロースト
インカのめざめのガトーをパルメザン風味で

すぎもと ゆう

杉本 雄 帝国ホテル 東京料理長 プロフィール

1980年生まれ。1999年に帝国ホテルに入社。その後、料理人としてのキャリアをスタートした後、2004年に退社し渡仏。厨房だけでなくホールの接客サービスなど数々の経験を積み、2006年にパリの老舗ホテル「ル・ムーリス」へ。ヤニック・アレノ氏、アラン・デュカス氏といった名料理人のもとでシェフを務め、同ホテルのメインダイニング(3つ星)では責任者の役割を担う。2017年に帰国後、帝国ホテルに再入社し、宴会シェフを経て2019年4月より、第14代帝国ホテル 東京料理長に就任。



●THIS IS THE IMPERIAL オリジナルドレス

開業130周年を記念し、日本が誇るトップブランド「ハツコ エンドウ ウェディングス」、
「桂由美ブライダルハウス」による、帝国ホテル限定オリジナルのウェディングドレスが
登場します。

・ハツコ エンドウ ウェディングス THIS IS THE IMPERIAL オリジナルドレス



王道のビスチェタイプのウェディングドレスは、
プロデューサー兼メイクアップアーティストとして
数多くのウェディングを担当してきた遠藤晶子氏が
帝国ホテルのロケーションをイメージしてデザイン。
ふわっとしたチュール素材に上品なレースを
あしらった煌びやかで女性らしいやわらかさが感じ
られるドレスです。

ハツコ エンドウ ウェディングス

1905年創業。日本における総合美容の先駆でありながら、衣裳からヘア&ビューティーまでトータルで手掛ける花嫁創りのトップブランドとして数多くの花嫁を手掛ける。伝統と革新が融合する「タイムレスな美しさ」をコンセプトに女性の美を追求しています。

・桂由美ブライダルハウス THIS IS THE IMPERIAL オリジナルドレス



ウエストからたっぷりと広がるシルエットが美しい、
シルク製ロングトレーンのウェディングドレス。
繊細で優美なレースの長袖でロイヤルスタイルにも、
シンプルでモダンなベアトップスタイルにもできる、
ツーウェイタイプのドレスです。

桂由美ブライダルハウス

1964年、日本初のブライダルファッションデザイナーとして赤坂にブライダル総合専門店
「桂由美ブライダルハウス」をオープン。以来、70万人を超える花嫁の晴れの日を見守り続けてい
ます。

●テーブルコーディネート

開業 130 周年を記念し、新たなデザインを追加。帝国ホテルが未来へ紡いでいく、時代を越えても変わらない想いをグラフィックにしました。

【THE IMPERIAL】※新コーディネート



帝国ホテルの 4 つの象徴、「ゴールデンローズ」「フランク・ロイド・ライトの意匠」「市松模様」「舵輪」をグラフィック化し、ゴールドとホワイトの 2 色で、テーブルクロスとペーパーアイテムにデザインし、ご提案するコーディネートです。

※写真 THE IMPERIAL WHITE のテーブルコーディネート

<シャンデリア「ゴールデンローズ」>



2001 年、帝国ホテル東京本館メインロビーに設置された、多田美波氏デザインのシャンデリアをモチーフにし、ホテルの重厚感と品格を表現しています。

<2 代目本館 建築家「フランク・ロイド・ライト」にちなんだ意匠>



1923 年に誕生した帝国ホテル 2 代目本館「ライト館」。20 世紀を代表する建築家「フランク・ロイド・ライト」によって建築され、後に、「東洋の宝石」とまで称された芸術的建築とそのデザインは、現本館の各所に受け継がれています。お客様にお喜びいただきたいとの思いからさまざまなサービスが生まれた革新の時代を象徴するライト館に使用されていた簾煉瓦(すだれれんが)のイメージをモチーフに、帝国ホテルのチャレンジ精神を表現しています。

<フランク・ロイド・ライトが好んで使用した「市松模様」>



元より、直線的なデザインを好んで使用する傾向にあったライトは、日本への造詣が深く、ライトが好んで使用したデザインの一つとして「市松模様」がありました。この市松模様は日本人らしいおもてなしを表現しています。

<帝国ホテルのロゴに使用される「舵輪」>



帝国ホテルのロゴの原型となる「船の舵輪を操るライオン」のデザインが初めて使用されたのは 1910 年頃。当時の日本は 7 つの海を越え、長い航海を経てたどり着く異国の地でした。長旅の後のお客様に最高のおもてなしができるように、との願いを込めたロゴマークに使用されるこの「舵輪」をモチーフに、今後も世界に負けないクオリティで未来への航路を拓いていく想いを表現しています。

- お問い合わせ先：帝国ホテル 東京 ウエディング担当
03-3539-8558 10：00～19：00（水曜定休）
- 帝国ホテル 東京 ウエディング ホームページ
<https://www.imperialhotel.co.jp/j/tokyo/wedding/index.php>
- 帝国ホテル 東京 ウエディング 公式 instagram
<https://www.instagram.com/imperialweddings.official/>